

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立高峰中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育目標「夢を語って、夢を追う児童生徒の育成」～「継続」「挑戦」「進化」～のもと、4校による合同研修や推進会議を実施し、協力・交流の機会や情報の共有を通して、学力向上、キャリア教育、人権・同和教育など、共に研鑽を積んだ。 学力向上については、「唐津の学びスタイル」をもとに、小中連携による研究に添って、単元による学習計画書の活用と授業と連動した家庭学習の工夫に取り組んだ。以前から取り組んでいることを教師間で協議を重ね、学習計画表を活用して単元をひとまとまりにした授業を行ってきた。今後、「唐津の学びスタイル」の各項目を全職員で吟味し、重点項目を設定し、授業改善に取り組んでいく。 生徒主体のあいさつ運動を実施しており、立ち止まりあいさつに取り組む生徒が増えている。学校行事においても生徒の出番が確保され、自分たちの手で行事を成功させたという達成感を感じさせることができている。 業務改善については、過度な超過勤務はなく勤務時間についてはほぼ適正であるといえる。ただ、定期的・個人的にみると、取組が十分でないこともあり、より効率よく業務を分担していくことが、来年度へ向けた課題である。
2 学校教育目標	<p>夢を語って夢を追う児童生徒の育成</p> <p>「継続」・「挑戦」・「進化」</p>
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校区内の学校連携に根ざした校内研究（キャリア教育・学力向上）の推進 ○分かる授業の構築と確かな学力の育成 ○児童会・生徒会活動の活性化 ○業務改善と働き方改革の推進

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標（数値目標）					
●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●全職員による共通理解と共通実践 ○主体的・対話的で深い学びを実現する授業の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ●学力向上対策評価シートに示したマ イプランの成果指標を達成した教師 85%以上 ○「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した生徒 80%以上 ○「文章の意味が分かるようになった」 に対して肯定的な回答をする生徒の割合 60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・「唐津の学びスタイル」を共通理解し、個別最適な学びについて、研修を深める。 ・組織を見直し、授業づくり部、基礎学力向上部の2部により、校内研修の充実を図る。 ・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半分以上の授業で「話し合う活動」を設定する。 ・例年行ってきた協働的な学びについて再認識し、様々な形態により実践に取り組む。 ・授業規律や教室環境を今一度見直し、基礎的な学力の向上を目指す。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修や職員会議で、本校の課題等を共通認識することができた。 ・校内研修では、学力向上アクションプランを活用し、分析をすることで、職員の授業に対する意識を高めることができた。 ・12月に実施したアンケート調査で肯定的に回答した生徒が89%と向上した。 ・また職員のアンケートでも85%が話し合う活動を授業の中に取り入れて授業を行うことができたと回答している。 ・学習者用タブレットを活用した授業づくりも以前より多くなり、生徒の個別最適な学びへとつながって学習活動により近くなってきた。また、電子黒板の活用についても、授業だけでなく、日々の生活の中で電子黒板を活用する場面が多くなってきている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が授業を工夫されているのもよかったです。引き続き、取組をお願いしたい。 ・主体的・対話的で深い学びができるように話し合いの活動を充実するよう取組をお願いしたい。 ・読むことや聴くことを重視しながら、学力の定着を図ってほしい。 ・記憶力も大事だが、理解して活用できるようにしてほしい。
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○「友達に対して思いやりある態度で接している」と回答をした生徒80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権講演会（人権集会）や道徳に関するアンケートの実施 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施 ・保護者や地域の方と連携した職場体験、産業体験の実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の輪番制による講話などによる人権講話や外部講師による講演会を通して、生徒の人権意識の向上に寄与した。また、学級の課題に応じて適宜道徳の授業に取り組むことができた。 ・1月に、人権同和教育に関する道徳の研究授業及び意見交換会を実施し、職員の道徳教育への意識向上に繋がった。 ・1年生は、宮農センター、2年生は、職業体験施設、3年生は進路実現と1つの流れの中で実施できた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳を柱として人権同和教育を推進されている取組がよく分かった。人権集会等でもさらに生徒達に人権意識を深めてほしい。 ・実際に体験して得るものは大きいので、直接経験させる指導も継続して取り組んでほしい。 ・いじめについては、小さい所から生徒の状況を把握し、きめ細やかな指導や支援ができている。
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒100% ○朝食をとって登校する生徒90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・保健だよりの発行 ・保健体育科担当と食育担当との連携 ・食に関する全体計画の見直し及び検討 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1年保健体育科の食生活と健康の授業、保健室便りや掲示物で健康への意識の向上を図ることができた。また、12月アンケートでは「健康に食事は大切である」と考え、朝食をとっている生徒は94%であった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策や食育の指導等について、しっかり指導してもらっている。家庭の意識も向上している。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○全職員の時間外勤務時間の平均が4.5時間以内にする。 ○部活動休業日の週2日以上実施の達成率を90%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休業日の設定(週2回の休業日) ・業務記録のデジタル化及び簡略化による時間外勤務の適正化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日を設定しているが、学校行事の準備等で定時退勤ができなかった。今後も、定時退勤日を設定しながら、教職員へ啓発していくことができた。 ・夏季休業中の学校閉庁日には、全職員とまではいかなかったが、ほぼ夏休を取得することができた。 ・部活動休業日は、ほぼ週2日の休業日を設け、実施できた。 ・業務記録については、デジタルコンテンツを使用し、教職員の出退勤について把握できるように改善を図り、スムーズな勤務時間の管理が行え、月45時間以内を達成することができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・取組はされていると思うが、改善は難航しているようである。生徒の教育環境を豊かにするためにも、先生方の働き方改革を工夫して推進してほしい。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目							
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
	重点取組内容	成果指標（数値目標）					
○キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアマナー検定の実施 ・スピーチ集会の実施 ・授業等におけるキャリア的資質を高める学習場面の洗い出しと重点化 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアマナー検定、スピーチ集会の実施やキャリアパスポートの活用を年間を通して計画的に実施することができた。12月のアンケートでは、「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒は74%、保護者からは83%が肯定的な意見であった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な実践が確実に取り組まれている。今後もその取組をさらに充実させてほしい。 ・なかなか中学生で夢をもつことは、難しいことだと思うが、今、好きな事や興味のある事から、目標をもってほしい。また、夢は、その時の状況で変わっていくものであるから、柔軟な考えでいいということを重視してほしい。
○特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の主体的活動の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ○「生徒会活動を中心に学校生活を充実させるよう努力している」と回答する生徒85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会による学校行事の実施 ・生徒が主体的に取り組む活動の充実 ・有機的に生徒会本部と連携した専門部活動の充実 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会、文化発表会、修学旅行など多くの行事を実行委員会形式で行い、生徒が主体的に活動できるように仕組み、実行することができた。 ・12月の調査で肯定的に回答した生徒85%、保護者からは93%であった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に活躍する場をこれからも多く作ってほしい。子どもにたくましさや身を付けさせてほしい。 ・コロナも収束しきれないところもあるが、生徒が輝ける場の設定をこれからもお願いしたい。

5 総合評価・次年度への展望	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</p> <p>「学力向上アクションプラン」を活用した授業づくりを校内研修や中学校部会を通して職員に共通理解を図り、意識した授業づくりが実践することができた。家庭学習については、アンケート結果をもとに課題の提示の仕方や取扱い方を工夫改善していくことが必要である。</p> <p>学力向上については、「唐津の学びスタイル」をもとに、単元による学習計画書の活用と授業と連動した家庭学習の工夫に取り組んだ。以前から取り組んでいることを着実に教師間で協議を重ね、学習計画表を活用して単元をひとまとまりにした授業を行ってきた。今後、「唐津の学びスタイル」の重点項目を吟味、設定し、授業改善に取り組んでいく。</p> <p>人権同和教育に関する研究授業や研究協議を通して、職員の道徳教育への意識が高まった。来年度も生徒対象の人権集会を実施して、生徒への人権意識の高揚につなげたい。</p> <p>実行委員会形式で生徒主体による学校行事の運営を推進した。そのため、生徒の主体性の伸長につながったが、生徒への支援の在り方や生徒の自主性を育てる手法等について今後、検討していきながら、次年度も継続していきたい。</p> <p>部活動休業日の設定に合わせ、定時退勤日を設定するなど、職員のはたらき方改革への意識を高めることはできたが、さらに校務分掌の均等化を図り、勤務時間の適正化につなげていきたい。</p>
----------------	---